



## 子育て世代に憧られる存在を目指し、設計の仕事も続けていきたい。

### 産業や社会・暮らしになくてはならないパワー半導体を設計するエンジニア

岡山県北部の勝田郡奈義町にある(株)三社電機製作所岡山工場(本社:大阪)は、パワー半導体の設計・製造・出荷を担う生産拠点です。私の仕事は、開発された新製品や既存品のモデルチェンジに関わる設計をはじめ、品質向上やコストダウンを目的とした設計変更による工場の改善業務です。CADと3D-CADを使い、PC画面上で製品や部品、組立に必要な治具(じぐ)を設計、図面化します。また、その図面から、実際に試作品を組み立て、製品評価や寿命を予測する信頼性試験なども行います。こうして私が関わった半導体は、業務用エアコンや太陽光発電、エレベーター、新幹線、洗濯機、温水シャワー便座など、あらゆる機器の必要不可欠な役割を担い、社会に広く貢献しています。学ぶことは多いですが、常に新しい技術の知識を増やしていき、製品改良のために応用できる技術は何か考え実践し、最終的に製品が完成した時は、達成感も得られます。そして、私の改良によって製造現場が「作りやすくなった」と喜んでくれるととても嬉しいです。

### 時間不足解消のための働き方改革 — ターニングポイント —

津山工業高等専門学校情報工学科出身なので電気系は専門外でしたが、先輩に指導していただきながら仕事を通じてCADや電気回路などの技術や知識を身につけました。入社3年目から開発・設計の仕事に携わり、2012年に結婚。今は2児の母です。産休・育休を2回取得し、いずれも育休明けまでに保育園に入れませんでした。会社には快く育休延長を受け入れていただきました。1回目の育休後、「仕事も育児も完璧にしたい」と思っていた私は周囲に迷惑をかけないように、残業もしていました。夫は、普段の家事や子どもが病気の時には会社を休んで看病してくれるなど協力的なのですが、子どもが「ママじゃないとダメ」と不機嫌になることも多く、仕事もプライベートも時間不足がストレスとなっていました。2回目の復帰の時は夫の交代勤務、長女の小学校入学が重なり、さらに、保育園と職場、自宅、小学校(学童保育)の場所がそれぞれ離れていて移動に時間がかかるため、定時に会社を出ないと保育園・学童保育2か所の迎えが間に合わないことが判明。体力的にも大変だったので根本的に生活を見直し、「残業しない」ことを選択。業務内にずっと悩んで思い浮かばないアイデア等も、意外と家に帰ってひらめくこともあり、限られた時間を有効活用し、効率を上げるための工夫を重ねています。

### 多様な制度を活用し、できるだけ長く働きたい

設計や開発の現場では少ない人数で複数のプロジェクトを進行するので、女性が得意とする並行作業の感覚が役立つと思います。私も結婚・出産後、忙しくなればなるほど並行作業の感覚が磨かれ、どんどん器用になりました。一見すると不利なことも、考え次第でプラスになります。私も子育ての忙しさを前向きに捉え、ムダを省いて効率を上げ、夫や子どもの希望も取り入れながら最善策を考え、いろんな制度を利用することで、製造部のスタッフにも制度を紹介できると考えました。そうすれば今後、後輩も制度を利用しやすい雰囲気づくりができるでしょうし、制度の利用も進むと思います。さらに、社内の子育て世代の憧れや目標となるよう設計スキルを高め、将来は設計・製造・資材・品質保証・営業など、いろんな部署の人たちから喜ばれるような製品や改善案を提案できるようになりたいと思います。



**職場の人間関係・信頼関係を築く  
残業できなくても急に休んでも  
認められるような自分になる。**

私は、保育園と学童保育の迎えが間に合わないので残業できません。繁忙期などでみんなが残業していても、私だけは早く帰らせてもらっています。だから、別の機会にはみんなをフォローしたり、時間内は集中して猛烈に頑張るなど、自分に厳しくして周りに認められる働きをするよう努めています。また、子どもの急な発熱などで休むこともあるので、周囲と信頼関係を築き、休んでも仕事が回る環境を整えることも大切だと思っています。



**いつも「笑顔のママ」でいるために  
子どもと過ごす時間を大切にしつつ、  
タスクをこなして笑顔をキープ。**

自分の笑顔や機嫌を保つことは、家族や周りの人が気持ち良く毎日を過ごすためにも必要。だから休日にも、子どもと過ごす以外の楽しみも持つようになっています。午前中に公園で遊んだら午後は子どもが昼寝するので、読書をしたり、家事を済ませたりできます。子どもと一緒に図書館で本を選んだり、上の子に裁縫を教えながら一緒に手を動かしたりするのも楽しいひと時。たまには1人時間も満喫します。



**子どもと一緒に就寝で効率アップ  
ムダな作業を捨て、効率化を意識。  
限られた時間で最善の方法を考える。**

毎晩、子どもを寝かしつけてから家事をしていた生活を改め、2人の子どものと一緒に就寝する20時半を目標に家事を終えるようにしたら効率が上がりました。それを機に家事や仕事の手順を見直したのです。身の回りの物を減らして掃除の手間を省き、週末に1週間分の食材を下ごしらえ・冷凍保存、考える仕事は家でできるので勤務中は手を動かす設計や試作などに集中するなどして時短に努め、自由時間とゆとりを生み出しています。

**ある1日のスケジュール**

- ★3:00 起床、お弁当づくり(私・夫・子ども用)、夕食づくり、子どもたちの準備、自由時間
- ★6:30 子どもを起こす、朝食、子どもの身支度
- ★7:35 長女を集合場所まで送る、次女を保育園に送る
- ★8:20 出社、メールチェック、雑務
- ★8:40 始業  
設計、試作、来客対応
- ★12:20 昼食
- ★13:00 会議、設計
- ★17:10 定時
- ★17:30 退社、保育園のお迎え、学童お迎え
- ★18:30 帰宅
- ★19:00 子どもと一緒に入浴、夕食
- ★20:00 子どもの宿題・翌日の学校準備、家事

20:30 子どもと一緒に就寝



株式会社 三社電機製作所  
半導体製造本部デバイス技術課  
設計係  
**小峪 翼さん**  
31歳

[将来の夢]  
子どもたちが大きくなっても、何でも話せる存在でいること。

[自分磨き術]  
ノート術・整理術(時間管理のため)を学ぶ  
[リラックス法]  
ひとりの時間をつくること





Interview 12

Moemi  
Nakahara

age.27

運転士



## 自身の可能性を引き出し、鉄道業界で働く女性の顔になれるよう頑張りたい。

### 地域のお客様の笑顔に乗せて、列車を安全に運行する運転士

水島臨海鉄道は、水島地域と倉敷市の中心部を約20分間で結ぶ、地域に密着した公共交通機関です。年間利用者数は約180万人（平成30年度）、1日に旅客列車は34往復、貨物は1日3往復運行しています。私は社内唯一の女性運転士で、旅客列車が運行する10駅区間（約10.4km）の運転業務を担当。勤務はシフト制です。乗車前には車両点検を行い、ワンマン運転の場合は駅に停車するたびに降車されるお客様から整理券と運賃を受け取ります。また、倉敷市駅の窓口での定期券や回数券、オリジナルグッズの販売といった駅業務も行います。小さな鉄道会社だから乗務員と乗客との距離が近く、お客様に「ありがとう」と声をかけていただいたり、「運転が上手だね」と褒められたりすることが多いのが、やりがいにつながっています。お客様の顔が見える仕事だからこそ、快適にご乗車いただけるよう運転技術の追求を永遠の課題として頑張っています。

### 会社初の女性運転士として乗務 — ターニングポイント —

子どもの頃、岡山の路面電車で初の女性運転士が誕生したニュースを見て、女性でも電車の運転士になれると知ってワクワクしました。水島臨海鉄道には女性の運転士がいなかったので「私が第1号になる」と決意し、運転士を希望して入社。運転免許（国家資格）の取得条件が20歳以上なので、1年目は車掌業務からスタートしました。車両に乗り込み、お客様に切符を手売りするのが主な業務です。人と話すことが好きなので楽しかったのですが、最初は駅名や運賃を覚えられず、料金を苦手な暗算で計算しないといけなかったのが大変でした。高校時代は規則正しい生活をしていたので不規則なシフト制に慣れるまで時間がかかり、男性ばかりの職場で戸惑うこともありました。また、時間を間違えたり、忘れ物をしたり、小さいミスは数えきれないくらい。周りの先輩たちに迷惑をかけて落ち込んでいた頃、上司に「最初から完璧にこなせる人なんかいない。今のうちにたくさん失敗しなさい。そしてその失敗を二度としないように努力しなさい。そうすれば必ず必要とされる人になれる。失敗も含めているんな経験を積むことでたくさんの力が身についた立派な人にもなれる。今は将来の自分のために働きなさい」と親身に励ましてもらえたことがきっかけとなり、今の自分にできることを精一杯やろうと気持ちを入れ替えることができました。次第に仕事への責任感が芽生え、持ち物チェックや動作確認を徹底してミスを防ぎ、暗算もできるようになりました。そして、20歳を迎え、運転士の社内訓練を受けました。先輩の指導は厳しく、汗と涙をたくさん流しましたが、「絶対、運転士になる」という強い気持ちで乗り切り、入社3年目で甲種内燃車運転免許試験に合格。2013年7月、念願の運転士としての乗務が始まりました。

### 運転業務に専念し、いつかは駅長に

会社設立以来初の女性運転士ということで、プレッシャーは感じましたが、与えられた仕事をきちんと全うすることが、仕事をする上で大切な「信用」を得ることにつながると思い、体調管理に気を付け、まずは元気に出勤することを心がけて乗車を続けました。改善意欲を常に持ち、お客様に安心してご乗車いただけるよう、高い運転技術を身に付けるべく日々精進しています。運転業務は好きなので自分が満足できるまで専念したいです。その後は、運行ダイヤの作成も勉強したいと思っています。また、駅業務について細かく学び、どんな時的確な判断・対応ができるように自分を鍛え、いつかは倉敷市駅の駅長になって全体をまとめられるようになりたいと思っています。



**運転免許は性別に関係ない国家資格**  
20歳になったら教習と訓練を経て受験。  
国家資格は一生ものの自分の財産。

列車を運転するには「甲種内燃車運転免許」という国家資格が必要です。筆記試験、身体検査、適性検査、技能試験に合格して初めて取得できます。試験は20歳以上であれば、学科や技能の教習を受けた後に受験が可能。列車の運転は誰もが未経験なので男女差はなく、運転技術は努力次第で上手くなります。運転士になっても、いかに上手に止まれるか、安全かつ定刻通りに運行するために工夫を重ねることで、さらに上達できます。



**心地良い関係、友人を大切にす**  
気を使わなくていい友人と一緒に、  
素の自分でいられる時間を持つ。

勤務時間は不規則だけど、14時や15時など明るい時間に帰れる日は1日得した気分です。子育て中の友達に会える貴重なチャンスなので、何でも話せて自分にとって心地良い友人の家に遊びに行き、その子どもと一緒に遊んでたくさん笑い、美味しいものを食べて過ごします。さらに、休日が年間119日あるので、ミラーレスカメラを持ってお出かけします。写真は独学ですが、花や風景、動物などを撮るのにハマっています。



**女性運転士の模範になる**  
次に入社する女性運転士が安心して  
働けるように風土を作って行きたい。

運転士は長い間、男性だけの仕事でしたが、未熟だからできないことはあっても、女性だからできないことはありません。ジェンダーフリーな環境を作るのは自らの「やる気」。女性も男性と同じ土俵に立つことが可能です。私の未熟さで周りに迷惑をかけたことはありましたが、協力的なみんなが助けてくれました。その恩を私は仕事で返したいです。今後は結婚や出産などを経ても女性が安心して働ける風土を私が作りたいと思います。

### ある1日のスケジュール

- ★4:30 起床、身支度
- ★5:10 出勤
- ★5:30 出社、始業、点呼(体調・飲酒チェックなど)、車両点検、3往復乗車
- ★10:00 休憩・食時
- ★11:00 2往復乗車、訓練
- ★13:50 終業
- ★14:10 退社
- ★15:00 友人と会う、夕食
- ★21:00 帰宅
- ★22:00 入浴
- ★22:30 晩酌

23:00 就寝



水島臨海鉄道株式会社

運転士

**中原 萌緑さん**

27歳

[将来の夢]

倉敷市駅長になること

[休日の過ごし方]

友達に会う、

睡眠をたっぷり取る

[趣味]

写真

[リラックス法]

一緒にいて心地良い友人と過

ごす、おいしいものを食べる





Interview 13

Ran  
Takeuchi

age.36

店長・スタイリスト



## お客様もスタッフも輝ける、そんなビューティーサロンを実現したい。

### 美容を通してお客様を幸せな気持ちにするビューティーサロンの店長

KAINOはヘアを中心に、ネイル、アイラッシュ(まつげエクステ)、ブライダル着付け、ヘアメイクなども手掛けるトータルビューティーサロンです。大阪市を拠点に、岡山、神戸、東京、海外などに展開しています。私は小学生の時から美容師に憧れ、地元の高知から大阪の美容専門学校に進学。KAINOの養成プログラムや、海外で経験を積める仕組みに興味を持ち、また、ワーキングマザーのための制度なども充実していたことから、「ここだったら、ずっと美容師を続けられる」と思って就職しました。現在は岡山店の店長として、スタイリスト業務に加え、スタッフの管理や育成、売上や顧客の管理なども担当しています。スタッフの体調やモチベーションにも気を配り、毎日、忙しくしていますが「美容を通してお客様を幸せな気持ちにできる」仕事に大きなやりがいを感じています。また、一般のお客様だけでなく、撮影現場でのモデルのヘアメイクや、世界的なミス・コンテストの最終選考会でヘアメイクをプロデュースするなど活躍の幅が広がり続けているところも魅力です。

### 新店オープンを機に縁もゆかりもない岡山に異動 — ターニングポイント —

大阪でスタイリストの技術を磨いた私は26歳頃、女性スタッフの育成や、成人式・卒業式・婚礼など女性に関わる全ての美容をトータルで任せてもらえるまでに成長しました。その頃、KAINOの岡山進出が決まり、代表から直々に「岡山で挑戦してみないか」と勧められたのです。大阪では店を信頼して来店されるお客様が多く、他のスタイリストからの引き継ぎのお客様もいらっしゃいます。しかし、新規出店の岡山はゼロからのスタート。技術・接客・センス・サービス、全てにおいて自分の度量が試されます。不安はありましたが、南国育ちの楽天的な性格もあり、「誰も知らない場所で自分はスタイリストとしてどこまでできるのか試してみたい」と思い、異動を決心。オープン当初は大阪と岡山の県民性の違いに戸惑い、紹介もないので落ち込みました。そんな時、気持ちを切り替えようと、出店場所のファッションビルに入っているショップで買い物をしては店員さんたちとコミュニケーションを取っていました。すると、彼女たちがお客様として来てくれるようになり、私もうれしくて全力で彼女たちを可愛くすることに努めたのです。次第に彼女たちがショップのお客様にKAINOや私のことを広めてくださるようになり、口コミでお客様が増えていきました。そして29歳の時、店長に昇格。岡山で2店舗目を開く際にも店長を任されました。

### 現場でサロンワークをしながらスタッフを「売れる美容師」に育て上げたい

店長として年間売上目標を達成したいと思ったら、最も大事なことはスタッフの育成です。スタッフの技術や接客力が上がれば自然と売上は上がります。ですから、髪質や輪郭、骨格や身体のクセによる仕上がりの違いなど、私は自ら学んだ理論や実践で得た知識を積極的にスタッフに教えています。なぜなら、自分が美容師を続けてきて良かったと思うから、美容を楽しんで欲しいからです。お客様の「今より良くしたい」という願いを叶えることができた時、お客様の「来て良かった」という笑顔を見るたび、「誰かをきれいにして幸せな気持ちにするなんていい仕事」だと思し、お客様から元気をいただくこともあります。誰でも必ず壁にぶち当たります。その時は大変だけど、乗り越えれば一段高いステージから、また違う景色が見られます。美容業界は女性が先頭に立って働ける業界です。私はこれからもずっと、美容師として現場でサロンワークをしながら人材を育てていきたいです。そして、スタッフやサポートして下さる皆さんのことを大事にしながら、いつも笑顔で周囲にパワーを与える存在でいたい。お客様もスタッフも合わせて、もっと女性が輝けるビューティーサロンを実現したいと思います。



**美容業界には女性管理職が必要**  
男性には言えない体調の悩みや不安、  
いろんな悩みに応えてあげたい。

スタッフの大半が20代女性で最年少は21歳。女性が多いので、男性店長に言えない体調の悩みにも私は丁寧に応えます。会社の考えを現場に伝え、反対に現場の状態や思いを会社に伝え、互いにより良くなる環境を作ることも私の役目です。最近では、スタッフの精神面のフォローも必要です。相手の年齢まで視線を下げて接し、どうしても「イラッ」とした気持ちが顔に出たら後から「なぜ叱られたのか」理由を伝えるようにしています。



**伝える力も情報・知識も本で吸収**  
後輩に伝えることの難しさを感じ、  
読書で分かりやすい伝え方を学ぶ。

私は昔から自分の思いを言葉で伝えるのが下手でした。接客講習の講師に相談したところ読書を勧められたので、それ以来、心理学をはじめ、社長の気持ちがわかる本、カウンセリングが上手にできるようになる本など幅広く読んできました。後輩に教える立場になって、さらに伝える難しさを痛感。特に感覚の違いを伝えるには語彙力が必要と感じ、時間があれば読書をしています。経営やマネージメントの知識も本で吸収しています。



**課題や悩みは同期の仲間と共有**  
同期の仲間は同じ管理職の立場で  
悩みを分かり合える貴重な存在。

もともと楽天的で落ち込むことの少ない私でも落ち込むことはあります。そういう時は、同期の友人に話して悩みを共有します。同期もそれぞれ店長や管理職に就いているから、距離は離れていても分かり合えるし、すごく助けられています。2019年6月には、勤続15年以上の功労賞で1週間の連続休暇をいただき、同期の友人たちと一緒にスペインに行きました。フラメンコやサクラダファミリアなど「本物に触れる」経験は刺激的でした。

ある1日のスケジュール

- ★7:00 起床、朝食の準備、朝食、身支度
- ★8:50 出勤
- ★9:15 出社、開店準備
- ★9:45 朝礼
- ★10:00 開店、業務
- ★13:00 昼食
- ★14:00 業務
- ★20:00 閉店後にレッスン、講習
- ★22:30 帰宅
- ★23:00 入浴

0:00 就寝



株式会社KAINO international  
美容室KAINO岡山店 店長  
**竹内 蘭さん**  
36歳

[将来の夢]  
女性をもっと輝ける環境を作る  
[オススメの本]  
『女の運命は髪で変わる』  
[自分磨き術]  
読書

[休日の楽しみ方]  
旅行、映画、料理  
[リラックス法]  
お酒を飲んだ後に  
カラオケで熱唱する







## 地域住民の交流拠点となる「道の駅」も舞台に人と町の活性化も。

### 地域の人が喜び、活躍できる。地域に活気をもたらす「道の駅」の駅長業務

株式会社パソナ岡山は、岡山県と広島県東部地区で多様な人材総合サービスとして、就業支援や、企業を対象とした人事戦略の提供・人材育成・研修事業などを提供しています。「社会の問題点を解決する」を企業理念に掲げるパソナグループの一員として地方創生事業を展開する他、地域の課題にも幅広くアプローチしながら、「雇用創造」を進めています。その一環で当社は、2016年4月より国道53号に面した「道の駅くめなん」の指定管理者となり、売店・レストラン・貸会議室などの運営と施設管理の責任者である「道の駅」駅長を2017年より私が務めています。約15名のスタッフと協力しながら「お客様第一」に考えたサービス・事業を展開。売店では販売に加え、地域の食材を生かした商品の開発や特産品の発掘なども手掛け、レストランでは地元食材を使ったメニューを提供しています。地元の皆さんに喜んでいただき、地域を元気にすることを目的に地元のお祭り・行事・農作業にも協力しています。

### 未経験の「道の駅」駅長に就任 — ターニングポイント —

私にとって「道の駅」駅長は、未知の分野への挑戦でした。私は、教師を目指して教育大学へ入学しましたが、「自らが社会で仕事をしないまま、社会に出ていく人を育てられるのか」と疑問を持ち、「様々な企業や職種と接することができる」人材ビジネスに魅力を感じ就職しました。営業や教育担当、人事など、異動や転職がありながらも現在まで、「人材ビジネス」の仕事に携わってきました。転機となったのは2016年12月、会社から「道の駅の駅長に挑戦しないか」と言われたことです。想定していない「異業種」への異動にあたり、不安ばかりが募りましたが上司や道の駅関係者からの励ましもあり挑戦してみることを選びました。「道の駅くめなん」は交通量の割に利用率が低く、年々売上も減少している道の駅でした。地元とのつながりも希薄で、地元の商品も来場者も少ない状態でした。右も左もわからないなか、心に決めたコンセプトは“ただいま”と帰ってきたくなるような道の駅です。未経験だからこそこの「顧客目線」を強みに、自分の大切なひとに「食べさせたいごはん」「プレゼントしたいお土産」「してほしい接客」を目指しながらお店づくりを進めました。一番苦労したのは働くスタッフの「意識改革」です。「今まではそんなことしてない」「しても無駄」という高齢のスタッフ達に、言葉で伝えるだけでなくともに働くことで徐々に理解が進み「まあやってみるか」と動きだしてくれるようになりました。改善は小さなことの積み重ねです。行き届いていなかった清掃の徹底、業者の契約の見直し、周辺草刈りやごみ拾いの徹底、できることは片っ端からやりました。地元の会合やイベントにもどんどん飛び込んでいきました。変化が現れたのは1年が過ぎたころ。来場者が徐々に増え売上も前年比約120%と成果がでてきました。

### 地域の人々やスタッフが活躍できる舞台づくりに励み、黒字化を実現

成果が上がるにつれ、スタッフの姿勢に変化が現れました。自ら「こんなことがしたい、こんなことができる」と提案してくれるようになり、繁忙時にはスタッフ同士がお互いの業務を手伝うようになり、全体の効率も上がって、少ない人数でも業務を回せるようになりました。全くの「異業種」と思っていたのですが、振り返ると今までの経験を活かし「人材育成」「風土改革」を実践できたのだと気づきました。「道の駅くめなん」のコンセプトは今でも“ただいま”と帰ってきたくなるような道の駅です。地元の方は「何もない」と言うけれど、四季折々に花が咲き、初夏の菖蒲も夏の睡蓮も美しく、宝物のような場所だと思います。道の駅くめなんファンが増えていくことで、地元の方が久米南を誇れるようになるとういなぁと思っています。と同時に、変化を恐れずとも頑張ってくれているスタッフに恩返しができるよう、黒字化を実現し、スタッフ全員を福利厚生費で温泉に連れていってあげたいと思っています。





**自分で自分の限界を決めない**

**自分が頑張ることは大事だけど、頼ることの方が、もっと大切。**

周囲の人には「高齢者は変わらない」と言われましたが、私は「きっと変わる。苦手なことは得意な人にやってもらい、その人の長所・得意を引き出そう」と考えました。私が「人づくり・組織づくり」で大切にしていることは自分で限界を決めないこと。村度せず、互いの持ち味を尊重し、生かしながら、得意分野の最大化を図ることで働くことが楽しいと思える人・組織・風土が育つと思います。働き方を自ら選ぶこと、頼ることも大切です。



**高齢の両親と一緒に暮らしたい**

**通勤距離は長くなっても親と同居。一緒に居るから分かることがある。**

私は毎日、実家の玉野市から久米南町まで片道60kmの距離を自家用車で約2時間かけて通勤しています。往復120kmですが、仕事帰りに岡山市内で芝居の練習に参加できます。父親の不調を機に実家に戻りましたが、現在は両親共に元気。家を出て一人暮らしも可能ですが、それでは顔を合わせる回数が減るでしょう。休日には芝居の活動もあるし、一緒にいないとちょっとした体調の変化にも気づかないので同居を選択しました。



**プライベートと仕事は両立できる**

**芝居が続けられないと思ったら仕事の量を見直す好機と考える。**

現在、岡山の劇団に所属し、芝居を続けています。芝居ができなくなったら、仕事の許容範囲を超えているということ。そんな状態では注意力が弱まり、良い仕事もできないので仕事量を見直します。管理職こそ遊びが必要。心に余裕があるから、周りの人も私と一緒に働きたいと思うのです。自分がしっかり休めばスタッフのフォローも快くできます。芝居をすることで人脈が広がり、イベント企画など仕事で役立つことも多いです。

**ある1日のスケジュール**

- ★6:30 起床、身支度
- ★7:30 出勤、朝食
- ★9:30 出社、開店準備、申し送り
- ★9:50 朝礼
- ★10:00 開店、取材対応、レジ応援、営業回り
- ★15:00 レストラン終了
- ★16:00 業者と打ち合わせ、事務
- ★18:00 閉店、片付け、退社
- ★19:00 芝居の練習
- ★22:00 帰宅、夕食
- ★23:00 入浴

25:00 就寝



株式会社パソナ岡山  
道の駅くめなん 駅長  
**織田 紘子さん**  
42歳

[将来の夢]  
地元で芝居を継続し、複数地域での公演を実現したい。  
[リラククス法]  
姪・甥と遊ぶ／細かい作業に没頭する／心を許せる友人や、興味のある人と飲む

[オススメの本]  
『モモ』ミヒヤエル・エンデ  
[自分磨き術]  
芸術鑑賞(主に芝居)／セミナー参加(ビジネス、美容、ダンスワークショップ、地域イベントなど)





Interview 15

Miyuki  
Kurokawa

age.36

設計技術者



## 派遣会社も活用し、未経験から正社員へ。勇気を出して正解でした。

### 鶏卵専用の産業用ロボットを用いた機械・装置の設計業務を担当

共和機械株式会社は、日本初の国産化に成功した鶏卵洗浄機をはじめ、国内オンリーワンの技術・特許を有し、鶏卵専用機械装置の開発・製造・メンテナンスで国内トップクラスのシェアを誇る企業です。私は、技術部で産業用ロボットを用いた機械装置の図面を作成する設計者の補助をしています。十数年前に勤めていた住宅メーカーで建築CADを使ったことはありましたが、産業用機械の設計やCADは未経験でした。線の引き方や数値の入力方法など、ゼロの状態から上司や先輩に指導していただき、現在は、2次元・3次元CADを使って産業用機械の図面の作成やトレース、3次元モデリングなどを担当しています。今は、上司や先輩に指示された通りに図面を描く仕事しかできませんが、自分の手掛けた図面がカタチになる「モノづくりの楽しさ」や、やりがいを早く実感できるようになりたいと思い、日々努力しています。

### パートから派遣社員、正社員へ、一歩ずつ — ターニングポイント —

私も夫も鳥取県出身。結婚後、夫の仕事の関係で津山市に転入しました。3人の子どもに恵まれましたが、両親と離れている上、周囲に友達も少なかった頃は子育てで困っても誰かに頼ることが難しく、とても不安でした。そのため、子どもが小さいうちは仕事と子育てを両立する自信がなかったのですが、3年前、マイホーム新築をきっかけに家計のゆとりを求めてデータ入力のパートタイム(9時~15時)に就きました。働き始めると周囲から病児保育など行政サポートの情報が得やすくなり、少し自信も付いたので一番下の子どもが小学校に入学したらフルタイムで働きたいと考え、2018年、保育園の年長組に上がったタイミングで派遣会社に登録しました。学童保育に迎えに行けて、土日・祝日が休みという条件に合う企業を探してもらえと思ったからです。すると、すぐに興味の持てる仕事が見つかり、未経験OKで、CADを使って機械の設計ができる仕事だと紹介されました。予定より時期は早かったのですが、希望通りの条件だったので「チャレンジしてみよう」と決断。2018年7月、半年間の契約で働き始めました。技術部では、ほぼ全員が設計業務に携わっており、17人が男性で女性は私を含めて3人(うち1人は在宅ワーク)。みなさん忙しい中で、未経験の私に1から丁寧にCADの使い方を教えてくださいました。最初は「できない自分」が申し訳なく、心苦しかったです。「先輩の手を煩わせたくない」、「早く覚えよう」とメモを取るのですが、家に帰ると子どもの送迎や家事で復習する時間はありません。だからこそ、勤務時間中に覚えることへ集中した結果、半年でCADを使った作業ができるようになりました。「ここでずっと働きたい」と思っていた頃、技術部部长から正社員へ登用のお声かけをいただき、2019年1月、正式に正社員になることができました。

### 仕事と子育てを両立しながら働く女性のロールモデルになりたい

正社員になってしばらくの間、仕事と子育てを両立できるかどうか不安でしたが、今は行動に移して良かったと思います。新しいことにチャレンジして生活スタイルが変わるのは不安は少なく、勇気があることでした。でも「何か変えたい、変わりたい」と思った時がチャンスなのだと思います。最近、昔の手書き図面をCADデータ化するなど複雑な仕事も任されるようになってきました。今の目標は、周りから「信頼される仕事」をすること。以前と比べて家の外で過ごす時間が増え、毎日忙しく、睡眠時間も減りました。しかし、仕事と子育てで日常にメリハリが付くようになり、これからもっとイキイキとした人生を過ごすような、自分自身も輝けるような気がしています。これから、もっとCADを使いこなせるように成長し、設計の知識も身に付け、いつかは一人前の設計者になりたいと思います。



### 求人探しに人材派遣会社を活用 自分の希望に合う企業を効率良く 探して派遣社員から正社員へ。

フルタイムで働きたいと思っても、パートの仕事と子育ての両立で忙しく、希望に合う求人を見つけるための時間は捻出できないと考え、まず、人材派遣会社に登録しました。たくさんの求人情報の中からコーディネーターが私に合う企業を見つけてくださる方が、自分一人で探すより効率が良いと思ったからです。実際、登録してすぐ、私の希望する条件に合う企業を見つけていただけ、勤めることができました。予想以上の結果に満足しています。



### 得意を生かして夫と家事分担 会社は違えど同じ設計者の夫が 一番の理解者であり、心の支え。

マイホームは家族の夢だったので、家計を支援するためにフルタイムで働く私のことを家族みんなが応援してくれます。自分の部屋ができた長女や次女は弟を世話してくれ、留守番もできるようになりました。一番の理解者である夫は「朝早くから夜遅くまでありがとう」と言ってくれ、毎朝、私が3人分のお弁当を作る間に朝食を作ってくれます。休日に、息子と夫の2人で夕食を作ってくれることも。その間に睡眠できるので家族には心から感謝しています。



### 働く女性のロールモデル目指す フレックスタイム制や時間有休など 社内制度を活用して仕事と子育てを両立。

仕事帰りに子どもを病院に連れて行く時には、試行的に導入中のフレックス制度を活用し、朝30分早く始業して夕方30分早く終業します。有給休暇は1時間単位で取得できるので、用事で1時間早く帰りたい時に便利。子育て世代だけでなく介護中の人にも使い勝手が良い制度だと思えます。今後、入社する女性のためにも社内制度を活用しながら仕事と子育てを両立し、ロールモデルとなれるよう頑張ります。

#### ある1日のスケジュール

- ★4:30 起床、お弁当づくり
- ★5:30 家事、身支度
- ★6:30 朝食
- ★7:25 子どもを送り出す
- ★8:00 出勤
- ★8:15 出社
- ★8:30 始業、図面作成
- ★12:15 昼食
- ★13:15 図面作成
- ★17:15 終業
- ★17:40 学童の迎え
- ★18:00 次女の習い事(ピアノ)送り
- ★18:30 夕食準備
- ★19:00 次女の迎え
- ★19:30 夕食
- ★21:30 長女の迎え(学校～部活の後、駅に着く長女を迎えに行く。朝はお父さんが駅まで送る)
- ★22:00 入浴

23:00 就寝



共和機械株式会社  
技術部  
**黒川 美幸さん**  
36歳

[将来の夢]  
家族みんなで海外旅行  
[オススメの本]  
『月刊ラリーボール』

[自分磨き術]  
お弁当づくりに凝る  
[リラックス法]  
休日にしっかり睡眠を取る

#### [夫からの一言エール]

毎朝のお弁当作りに子どもの送迎など、毎日朝早くから夜遅くまでありがとう。勇気を持って経験のない設計業務に飛び込む勇気と行動力、尊敬してます。会社は違えど同じ設計者として、一緒にレベルアップしていこう。

取材協力：共和機械株式会社  
本社所在地：岡山県津山市河面 375 番地  
HP：<http://www.kyowa-machinery.co.jp/>







## キラキラした人・モノ・空間も創り、地域に笑顔を増やしたい。

### eコマース事業を通じ、メーカーとお客をつなぐ架け橋のような存在へ

株式会社Orbは、自社オリジナルシステムを活用した電子商取引(eコマース)に関する事業を展開しています。創業は2013年。eコマース事業を通じて「メーカーとお客をつなぐ架け橋のような存在になりたい」と考えた私が個人で立ち上げたベンチャー企業です。現在、日用品や食品、薬品、衣料品、ペットフードなど、6万円を超える多種多様な商材を販売する総合ネットショップの運営事業を中心に、ホームページ作成、ネットショップ構築サービス事業、ネットショップ運営代行に加え、パッケージやチラシのデザイン、海外販路開拓支援、翻訳、ビッグデータやAIを活用した情報収集・分析による売れ筋予測・コンサルティング業務なども手がけています。「お客様の喜びの声を直接いただけること」にやりがいを感じ、お客様のご要望に丁寧に応じるうち、ここまで事業の幅が広がってきました。さらに、「eコマース事業で岡山を活性化したい」という夢を事業化。岡山生まれ・岡山育ちの商品をセレクト販売するサイト「岡山スタイルショップ晴実堂」も運営しています。

### 理想の働き方を自分で作るために起業 — ターニングポイント —

私は20代の頃にシングルマザーとなり、女性が子育てしながら就職すること・働くことの難しさを痛感しました。岡山県の支援事業により職業訓練校「ポリテクセンター岡山」で情報処理のスキルを身につけたものの、子どもがいるという理由で採用時に敬遠されることが多く、希望の職に就けませんでした。2か所の保育園を併用しての育児、低賃金での長時間労働、ダブルワークも経験。仕事でプライベートが圧迫されても「ここで休んだらキャリアがストップするかも」と不安に怯え、昼夜問わず働き続けました。しかし、子どもが高校生になり、自分も40歳に近づいた2012年頃、「このままで良いのだろうか」と子どもが自立した後の生き方を見直すようになったのです。どう生きたいのか、どんな働き方が理想なのか、1年ぐらい考えても答えが見つからなかったため、「自分で作り上げるしかない」と一念発起。地域の創業塾などで経営を学び、それまで働いていたネット通販会社でのバイヤー経験やITスキルなどを生かして2013年、倉敷市が運営する「くらしきベンチャーオフィス」で創業しました。創業時は信頼も実績もないため融資が受けられませんでした。周囲の経営者や創業支援団体に相談しながら事業計画を作成し、金融機関の融資を受けて法人化。手伝ってくれていたアルバイト1人を正社員として採用することもできました。

### 管理職になることで見える景色が変わり、豊かな人生へ

法人設立後は業務拡大に伴い、スタッフの増員が急務でした。知人を頼ってスタッフを探したところ、「子育て中の専業主婦だけ働きたい」という女性が見つかったのです。「目標を持ち、仕事をしながら達成感を感じ、自己成長・自己実現したい」と思っているにも関わらず家庭の事情で働けない状況にある人が多くいるのではと感じていた私は、「出社不可だけど在宅なら入力作業ができる」という彼女の働ける環境を用意しようと考え、PCを貸与してテレワークを導入。私にも、子育てと仕事の両立で苦労した経験があるから、その後も、子育て中・介護中などの理由で働けない事情を抱えた人たちに少しでも働く場を提供できるよう、各自の条件に合わせて働き方や休暇制度を構築していきました。また、将来子育てが終わった後に非正規雇用から正規雇用に変えることもできる制度を導入、新業務に挑戦したいと望むスタッフには即対応。さらに、会社の経営・財務など全ての情報をスタッフに開示。すると、スタッフの間には、働きやすく自己実現できる自分の居場所(会社)の一員という意識が高まり、仕事へのモチベーションも上がり、組織が活性化するという好循環を生むことができました。これからもお客様やスタッフと共に会社を成長させ、みんなの夢の実現をお手伝いしたいと思います。私の夢は、スタッフ全員がキラキラ輝き、誇りある人生を送れる会社にあること。将来は、起業家を輩出できるような会社づくりをしたいと思っています。



**自分も社員もキラキラ輝ける職場  
育児中、介護中など、  
多様なスタッフが活躍。**

主婦スタッフの増加をきっかけに、「仕事にメリハリをつけてバランス良く働ける環境が必要。豊かな人生を歩んで欲しい」と考え、育児・介護制度を整備しました。自分が働きながら子育てをして感じた不便さや苦勞を解消できるよう、子どもが病気の時に有給休暇を取りやすい看護休暇制度を整備。遅刻や早退にも柔軟に対応できる1分単位の分給制度、能力に応じて非正規雇用から正社員に転換できる制度も導入しました。



**未経験、専業主婦から時短勤務へ  
「ここで働けることが楽しい！」  
自分の可能性に挑戦したい。**

専業主婦だったNさんは、2人の小学生の母親。商品梱包のパートで働き始めましたが、学校行事や子どもの急病時も休みやすいOrbの働きやすさを実感。「社長は常に前向きだし、ここで働き始めてから仕事が一番楽しい」と感じたそう。他の業務にも興味を湧いたので社長に相談すると、問い合わせにPCメール等で応じるカスタマー担当を任せられました。「15時までの時短勤務で自分に合う働き方ができるOrbは私の大切な居場所です」。(スタッフNさんからの声)



**休日の楽しみは孫と遊ぶこと  
仕事を通じていろんな経験を重ね、  
より豊かな人生を過ごしたい。**

今一番の楽しみは孫と遊ぶこと。当社は土・日が休みなので毎週末、娘は孫を連れてわが家に遊びに来てくれます。私自身の子育て中は余暇などなく働き詰めでしたが、プライベートも充実させ、メリハリのある生活を送る方が、より豊かな人生が過ごせるし、仕事でもスキルを発揮できると思います。だから、私たち管理職が自分の時間を大切に、笑顔で人生を豊かに満喫しながら働く姿を見せることが大事だと思います。

ある1日のスケジュール

- ★7:00 起床、身支度
- ★8:00 自宅で事務作業、1日の業務の段取り
- ★8:50 出勤
- ★9:00 出社
- ★12:00 昼休憩(昼食、社内ジムでマッサージ)
- ★19:00 退社
- ★19:10 夕食準備、夕食、家事
- ★21:00 入浴
- ★22:00 仕事(1日の業務チェック)
- ★23:00 映画(TV)鑑賞

25:00 就寝



株式会社Orb  
代表取締役  
**河井 七美さん**  
45歳

[将来の夢]  
スタッフたちの成長を見続けること  
[オススメの本]  
『グローバル化の終わり、ローカルのはじまり』吉澤保幸

[リラックス法]  
孫と触れ合うこと  
[自分磨き術]  
地域活性の取り組みをしている人たちとの触れ合い







## 育休から復帰し、子育てしながらキャリアアップも目指したい。

### 語学力を活かし、海外産製品の輸出入に伴う物流の交渉や手配を担当

合成樹脂繊維メーカー萩原工業(株)のグループ企業「バルチップ株式会社」は、世界的にニーズが高まっているコンクリート補強用繊維「バルチップ」の販売事業を統括するための会社。私の仕事は主に、倉敷市の本社で行う海外営業事務と貿易事務です。インドネシアの生産拠点で製造されたバルチップを日本に輸入する際や、世界9か国に点在する営業・販売拠点に輸出する際に、より安く、より速く、より良いサービスで製品を届けるため、インドネシアで信頼できる委託先(物流業者)を選定し、効率的な物流の手配・調整や、輸出入に必要な書類の作成、通関手配などの貿易事務を行っています。また、外国人スタッフや顧客、通関業者、船会社などと毎日、スカイプやメールを通じて英語で連絡を取り合い、世界情勢や為替の動向などに目を配りながら、海外や国内の営業チームとコミュニケーションを図り、信頼関係を深めています。業務を通じて「International」を直接、肌で感じられる上、各国の規制・ルールによって複雑な国際物流の調整を行いながら、問題を解決して製品を届けることに私は大きなやりがいを感じています。入社以来、これらの業務は私1人で担当してきましたが、2019年夏から産休に入るため、4月入社の後輩に3か月かけて引き継ぎました。現在は育休中で、2020年9月復帰予定です。

### 業務をひと通り身につけて海外出張へ — ターニングポイント —

学生時代は外国語大学でスペイン語を専攻し、スペイン長期留学や、メキシコの繊維企業でのインターンを経験。入社後、その経験と語学力を活かせる海外営業課に配属された私は、海外営業事務の仕事を前任者から約2か月間で引き継ぎを受けました。しかし、すぐに業務をこなせる訳もなく、残業が増えるばかり。自分に対して歯がゆい上に申し訳なく、何度も上司や担当営業に質問し、独学で貿易事務を勉強しながら、早く一人前になりたいとむしやりに頑張りました。入社1年目の冬、やっと余裕が生まれ、定時に退社し、ジム通いやゴルフの練習、書道ができるようになりました。ターニングポイントは入社1年目の3月。初めての海外出張でした。インドネシアの生産拠点と、アジア向けの販売拠点であるシンガポールに1週間ほど出張し、物流業者に英語で業務改善の交渉をしました。「1年目の私に自由に任せてもらえる」ことがうれしく、これをきっかけに私は、より一層のコスト削減やサービス見直しと向き合うようになりました。また、相手のことを考える意識も持ちつつ、物流スピードや価格も含めた費用対効果や効率を考えた交渉もできるようになりました。

### 女性の道を切り拓く先陣として行けるところまで上を目指す

2017年に結婚。日中は仕事、帰宅後は料理や洗濯、掃除などの家事という生活スタイルに変化しました。復帰後は、女性社員活躍のロールモデルとして、後輩に「こういう生き方、働き方もある」と参考にしてもらえるような道を拓きたいです。そして、子育てをしながらキャリアアップを目指し、誰からも認められる存在になりたいと思っています。また、海外営業事務はこれまで1人体制だったので、上司から「業務チームを作っては」と提案されています。東京支社の国内営業事務スタッフと協力し、国内外の営業事務を担う業務チームを構築して誰か1人が休んでも業務が滞ることなく、チームで補完し合えるようにしたいと思っています。そして、萩原工業グループで働き続け、子育ても家事も頑張りながら仕事に全力を傾け、公私共に悔いのない人生を送りたいと思います。



### 産休・育休中は子育てに専念

企業主導型保育園があるから安心。保活の必要がなく復帰も予定通り。

私は社員のための企業主導型保育園を利用できるので、産後の大変な時期に育児をしながら保育園を探す必要はありません。待機児童になる心配もなく、予定通り復帰できるから安心して育児に専念できます。保育園と会社の営業日が同じなのも便利です。育休中にインドネシア語を勉強しようと思いますが、この子と一日中一緒にいられるのは1年という限られた期間なので、今は育児に全力投球したいと思います。



### 働く女性には家族の支えが必要

家族の支えもあっての女性進出。感謝の気持ちを忘れずにいたい。

夫は、休日には当たり前のように家事をします。何でも2人で協力し合ってきました。子どものお風呂も夫の担当です。また、双方の父母の協力も得られる環境にあります。家族の支えがあるから私は活躍できるので、感謝の気持ちを常に忘れません。夫は「仕事と家庭の全てを、より良くしたいと思う向上心は『あっぱれ』。満足のいくキャリアとなるよう引き続き応援します」と言ってくれるので、私も諦めず、全て貪欲に追求したいです。



### 復帰後の生活をシミュレーション

短時間勤務や時間有給休暇など、利用できる社内制度は全て活用。

復帰後は、やむを得ない場合を除いて残業ゼロに努め、海外生産拠点の休業期間に合わせた計画的な有給取得、短時間勤務制度や時間有給制度の活用など、利用できる制度は全て利用して人生を充実させたいと思います。また、家事はミールキット宅配サービスや、携帯のリマインダー機能を使ったタスク管理などでムダを省き、隙間時間に自宅でオンライン・ヨガなど、好きなことを楽しみたいです。

### 復帰後の1日シミュレーション

- ★5:30 起床、朝食準備
- ★7:00 自分と子どもの身支度、朝食、経済ニュース視聴、夫と子どもを送り出す(夫が保育園に送る)
- ★7:30 家事、ニュース視聴
- ★8:00 出発
- ★8:45 ラジオ体操、朝礼
- ★9:00 業務
- ★12:10 昼休憩、家計簿作成・スケジュールリング、新聞を読む
- ★13:00 業務
- ★16:30 退社(短時間勤務制度活用)、保育園お迎え
- ★17:00 帰宅、ミールキット(食材セット)料理
- ★18:00 子どもと夕食
- ★19:00 子どもの入浴(担当:夫)
- ★19:30 絵本、子どもの寝かしつけ
- ★20:00 家事、夫の夕食
- ★21:00 自由時間、読書

22:00 ストレッチ、就寝



バルチップ株式会社  
営業部海外営業課  
**三木 彩友美さん**  
28歳

[将来の夢]  
子育てを全力でやり遂げ、この会社で最後まで働く。  
[オススメの本]  
『なぜあなたの仕事は終わらないのか』中島聡

[自分磨き術]  
スマホのリマインダー機能を活用したタスク管理  
セルフネイル  
[リラックス法]  
自宅でオンライン・ヨガ

### 【夫からの一言エール】

仕事と家庭の両方を全て100点でこなすことは難しいですが、より良くしたいという向上心には「あっぱれ」です。満足のいくキャリアとなるよう引き続き応援します。

取材協力：バルチップ株式会社（萩原工業グループ）  
本社所在地：岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地  
HP：<https://www.barchip.co.jp/>





Interview 18  
Akemi  
Asahina  
Age.54

代表・塾講師



## 子どもや元教師が自分らしく生きるためのお手伝いをしたい。

### 小・中学生を対象とした、少人数個別指導による学習塾を運営

「ポケット」は、子どもたちの『できた』の笑顔をつくる塾をコンセプトに、岡山市内で2教室を展開する学習塾です。元小学校教諭で、中学・高校の国語教員免許も併せ持つ私が、講師兼代表を務めています。子どもたちが学校で抱えてしまった「しょぼりした気持ち」を見えないポケットに入れたまま、この場所・ポケットに来て、「できた!」といううれしい気持ちに入れ替えて自宅に持ち帰って欲しい、そんな気持ちで名付けました。小学1年生から中学生を対象とした1クラス6~8人程度の少人数教室で、みんなと一緒に楽しく勉強する環境を整えつつ、子ども一人ひとりの能力やつまずき、気づき、個性などに寄り添った個別指導を行っています。教育現場にいたからこそ思うところもあり、「母のまなざしでプロの指導」をモットーに、独自の学習塾の形態を構築。特に思考力の源となる「国語力」を根本から見直し、一方で遊びと勉強のスケジュールを自分で計画的に管理できる「時間管理術」を自然と身につけられるような生活指導も行っています。

### 一般企業から教職へ、さらに塾開業 — ターニングポイント —

私は大学卒業後、大阪の企業に入社。数年たって激務と利益追及の経営方針に疑問を感じていた頃、たまたま通りかかった小学校で「ふるさと」の歌を耳にし、小学校教員を目指そうと決意。中学校と高校の教員免許は、すでに取得していたので、小学校教員免許に必要な単位を働きながら通信教育で取得し、教育実習を機に岡山へ帰りました。高校講師を経て、小学校教諭として16年間勤務。しかし、結婚・出産後、子どもの保育園の送り迎えをはじめ、寝かしつけた後の深夜の採点や添削などで睡眠不足になり、その頃の記憶がないくらい、子育てとの両立は想像以上に大変でした。私の両親に、かなり助けてもらいましたが、数年で体調を崩し、40代前半で退職。病気と折り合いをつけながら働ける仕事を考えていた時、ママ友からの依頼に応える形で部屋を借りて学習塾を始めました。最初は、生徒2人からスタート。部屋代が払えるかどうか不安でしたが、徐々に口コミで生徒が増え、10年間続いたところで2018年に事業主登録。さらに2019年、2教室目をオープンしました。創業塾等に通ってビジネスの基本を学び、「2018年女性創業塾」でプレゼン最優秀賞受賞。2019年ブレインキューベーションセミナーで事業計画発表会優秀賞受賞などを経験したことは大きな自信につながりました。

### 課題を抱えた子どもたちと元教員を支える事業で社会貢献を

現在、「ポケット」では、小学生から中学受験、高校受験までの子どもを対象に指導しています。今以上に「勉強ができるようになる」ということは、子どもたちの「未来の選択肢」が増えるということ。将来、社会の中で子ども自身が「自分らしく生きていけるお手伝いをしていく」という気持ちを大切に指導に取り組んでいます。スタッフは私一人なので、教材研究や指導の準備、事務処理や広報、保護者や子どもたちへの対応、大小さまざまな業務を全て一人でこなすのは大変ですが、アイデアをすぐに形にして実践できる、このスピード感と手応えは自営業の醍醐味。また、経営者だからこそ、目の前のことだけでなく、ポケットをどのような塾にしていきたいのか、ワクワクした気持ちで長期計画を立てることもできます。近年、発達障がいや不登校、学習困難等、課題を抱えた子どもたちに対し、個別に対応できるプロの指導が求められています。学校の一斉指導や支援学級での学習指導だけでは学習の定着が難しい反面、しっかり対応できる学習塾は少ないので、今後は、そんな社会的要求にも応じられる学習塾の運営や、中途退職教員などプロの技術活用などにも取り組みたいと思います。



**創業塾でビジネスの基本を勉強  
塾の先生は経営者であると自覚。  
長期的な計画やビジョンに着手。**

学習塾を始めた当初は、「塾の先生」という意識が強く、「経営者」という意識はあまりありませんでした。しかし、生徒数を増やすための広報、生徒が増えるにつれて煩雑になる経理などの事務をこなすうちに長期計画の必要性を感じ、(公財)岡山県産業振興財団主催の女性創業塾やプレインキュベーションセミナーで、経営について基礎から学ぶことにしました。そこで改めて「経営者」としての自覚を持つことができましたような気がします。



**自身の経験から新しいビジネスを考案  
学習塾の開塾支援や業務支援により  
教員のセカンドキャリアを応援。**

私は教師を続けたくても、健康上の理由でかかいませんでした。病気だけでなく、パートナーの転勤や介護、育児との両立などの理由で中途退職せざるを得ない教員は年々増加しています。そんな中途退職教員のために学習塾開塾支援や業務支援、将来的にはFC展開ができれば、教員のセカンドキャリアの選択肢の一つになると考えています。また、課題を抱えた子どもたちと元教員、両者のマッチングもできたらいいなと思っています。



**時間管理術で仕事と家庭を両立  
家族ONE TEAMでタスクをシェアし、  
助け合うから結束力が高まっていく。**

受験クラスの児童・生徒のため、遊びや部活・勉強を両立しながら計画的に学習できるよう、独自の時間管理術「スタディ&プランノート®」メソッドを考案しました。これを自分にも活用。家族の予定や家事を含むタスクを全てノートに書き出し、家族全員でシェアしたのです。結果、家族が1つのチームのようになってお互い支え合うのが当然となり、会話も増え、毎日、笑顔で過ごしています。現在、洗濯物の片付けと夕食後の洗い物は夫の分担です。

ある1日のスケジュール

- ★8:00 起床、夫と一緒に簡単な朝食
- ★8:30 夫を見送る、朝食の片付け、洗濯、掃除、買い物などの家事
- ★10:00 自宅で事務仕事、教材研究など
- ★12:00 昼食、休憩
- ★13:00 事務仕事・教材研究など
- ★15:50 出勤
- ★16:00 出社 授業準備
- ★16:30 授業開始
- ★20:20 授業終了
- ★20:30 掃除、片付け、退社
- ★20:40 帰宅 夕食準備
- ★22:00 夫と一緒に夕食
- ★23:00 入浴

0:00 就寝



ポケット  
代表  
**朝比奈 明美さん**  
54歳

[趣味]  
映画鑑賞、読書(時代小説など)  
[オススメの本]  
『思考の整理学』外山滋比古  
[将来の夢]  
本の出版

[自分磨き術]  
書道(書道9段・筆ペンでかな文字を練習中)  
[リラックス法]  
アロマセラピー  
アロママッサージ

【夫からの一言エール】

いつも通り、いろいろ楽しんで！体調管理はしっかりとね♡

取材協力：ポケット  
本社所在地：岡山市北区中仙道 2 丁目 9-3-2 Nakasanso Bales 5 B-101  
HP：https://peraichi.com/landing\_pages/view/smilepocket







## 付加価値のあるデザインで働く女性たちに喜びを提供したい。

### 女性用制服の商品企画・販売計画からデザイン、スケジュール管理まで

株式会社ジョアは、女性用の「しごと服」と関連商品の企画・製造・販売を通じ、働く女性の「よろこび、かがやき」を応援・提供していく企業です。一般事務向け、病院・クリニック向け、企業受付・インフォメーション向けの3コレクションを展開し、毎年2冊(春夏・秋冬)のオリジナルカタログを発行。全国の販売代理店様を経由して、商品をカタログ販売しています。私が所属する商品企画チームは、コンセプト考案から販売計画、デザイン全般を手掛け、素材メーカー・資材商社との打ち合わせや素材開発、作成したデザイン画をパターンナーに渡した後の商品サンプル作成・チェックなども担当しています。チームメンバーは私を入れて4人。他の3人はデザイナー業務に専念。私はチーフデザイナーとして、デザインだけでなく、全体のスケジュール管理や進捗チェック、素材メーカーや資材商社との交渉、生産現場との調整なども行います。チームメンバーの指導と評価も私の仕事です。カタログ制作は別の部署が行いますが、紙面づくりに関わる商品のコーディネイトや撮影イメージ案、カタログのテイスト決めなどにも参加し、一緒に作り上げます。

### 産休後、時短復帰を経てチーフデザイナーとして若手を指導 — ターニングポイント —

美術系大学を卒業後、デザイナーとして入社。当時、デザインから生産まで、いろんな業務を1人で兼務されていた男性デザイナーの下に専属デザイナーチームが結成され、私ともう1人(女性の先輩)が配属されました。しばらくして先輩が産休に入り、スタッフが1人増員されました。私はチーフデザイナーに就任して、結婚。先輩の復帰後、今度は私が産休・育休を経て復職。3年間は16時までの時短勤務制度を活用しました。チームの人数は4人に増え、仕事量も増えていたので、チーフデザイナーという立場にも関わらず早く帰ること、メーカーとの打ち合わせや商談などの出張を制限することは心苦しく、「本当はもっとやりたいのにできない」というジレンマを常に抱えていました。そんな時、社長や上司に「自分一人で抱えず、みんなに頼ったらいいい」と言っていただき、また、子育てしながら仕事ができる環境づくりをしてくださったことには感謝しています。時短勤務から通常勤務に戻り、2019年、チームの2人が入れ替わり、新体制がスタート。教えることも多いけど、若いデザイナーの、新しい目線が入ることで、これまでにない要素を取り入れられるようになりました。

### 新しい時代のモノづくり、デザインに挑戦

子育てしながら働くチーフデザイナーとして、社内外から見て「あの人がチーフデザイナーなんだ」と言われて恥ずかしくないよう「いつも、綺麗にしていよう」と心掛けています。ノーメイクでの出社は自分的にNG。パリコレなど、世界のコレクションは毎シーズン、チェックして世界の流れやトレンドを把握しています。今、当社はSDGsを取り入れたモノづくりに取り組んでいるので、資材や在庫のロス削減に努めています。より詳細な計画を立て、目標通りに販売できるよう、また、付加価値をどう作るかという視点で作り方や考え方を変えています。自分も変わっていかないとはいけません。今後は、もっと会社の知名度を上げ、売上を伸ばし、一目で「ジョアの服」だと分かる製品が企画できればいいと思います。女性用の制服なので、デザインによって売上金額の明暗がはっきりと分かります。目標の売上を達成できるような、そして、女性たちにも喜んでもらえるような商品が作れるよう努力しながら、仕事、家庭、子育て、趣味を楽しみ、自分らしく輝ける人生を送りたいと思います。



**若手が育つ環境づくりも仕事**  
若手デザイナーがどんどん前に出てきてくれる環境をつくる。

チーフデザイナーとして指導する際、一方的に指示するのではなく、彼女たちが自分の考えや、やり方に自信を持てるよう、「あなたはと思う？」と必ず聞き、彼女たちの言葉や思いを引き出すことを大切にしています。「こう思うから、こうしたい」と結論まで話す力を付けることで、素材メーカーと商談・交渉できるようになるからです。時々議論になりますが、こちらが負けるくらい彼女たちが育ってくれることが一番嬉しいです。



**女性が多いからこそ後輩のためにも制度を活用**  
後輩の女性が働き続けられるように時短勤務の他に2時間外出制度など

私の育休中、チームのメンバーは業務の進捗状況を頻りに教えてくれ、子どもを連れて職場を訪問させてもらったことで安心感を持って育休期間を過ごせました。状況を全く知らないまま復帰するより、現状を知っておく方が復帰しやすくと実感しました。子どもが体調不良で勤務中に少しだけ外出したい時には、2時間外出制度を利用。私が制度を活用することで、これから子育てをする後輩女性にも働きやすい雰囲気を醸成していきたいです。



**子どもと過ごす時間を大切にする**  
両親の手助けに頼りながら、仕事と子育てを両立し、しっかり遊ぶ。

娘を保育園に送るのは私ですが、お迎えは、私の代わりに両親に行ってもらっています。泊まりの出張もあるので、その日は両親に子どもを預けています。シングルマザーなので、両親にかなり助けてもらっています。週末はその分、子どもとしっかり遊ぶようにしています。大好きな絵本の読み聞かせは毎晩。ゲームをしたり、絵を描いたり、休日には公園などで外遊びをします。

ある1日のスケジュール

- ★5:45 起床
  - ★6:00 身支度、朝食
  - ★7:00 子どもを起こす
  - ★7:30 子どもを保育園に送って会社へ
  - ★8:15 出社
  - ★8:30 清掃
  - ★9:00 朝礼・始業(ミーティング、資料作成など)
  - ★12:00 休憩・昼食
  - ★13:00 午後の業務(サンプルチェックなど)
  - ★18:00 終業
  - ★18:30 退社、スーパーで買い物
  - ★18:45 帰宅、夕食
  - ★19:30 入浴
  - ★21:00 子どもと過ごす時間
  - ★22:00 絵本を読みながら子どもを寝かしつける
  - ★22:30 ネイルのお手入れ
- 23:00 就寝



株式会社ジョア  
商品開発グループ  
商品企画チーム  
チーフデザイナー  
**山口 真依さん**  
33歳

[将来の夢]  
子どもと2人で海外旅行  
[オススメの本]  
『はらぺこあおむし』エリック・カール  
『シュルレアリスム宣言・溶ける魚』アンドレ・ブルトン

[自分磨き術]  
美容(コスメを大量に試し買い)  
[リラックス法]  
レンタルサイトで漫画を読む、  
ネットショッピング

[上司(商品開発グループ長)からの一言エール]

経験の浅い3人のデザイナーをチーフデザイナーとして教育しながら、自らも働く女性が喜ぶデザインを日々熟考してくれていて頼もしい限りです。「働くママ」として、また一人の女性として、当社の女性スタッフに、ますます憧れられる存在となるよう輝き続けてください。

取材協力：株式会社ジョア  
本社所在地：岡山市南区内尾 288-14  
HP：https://www.joie.co.jp/







## 未経験からでもIoT業界で活躍できることも証明したい。

### 製造業の未来に貢献する自動設計システムの開発・保守を行うプログラマー

セリオ株式会社は、岡山を拠点に東京・愛知で、製造・流通業・介護・ビジネス系のWEBシステムや設計・モデリング等の数値演算システム、車載関連の組込系ソフトウェアなどのシステム開発・保守を行う企業です。私が所属する第二本部では、自動車・航空機などに用いられる主要部品を自動設計するシステムの開発・運用・保守などを行っており、その中で私はプロジェクトチームのプログラマーを務めています。マネージャー、リーダーの指示を受けながら、システムエンジニアの設計通りにプログラムを作ってテストし、間違いなく動作するかどうかを確かめ、不具合があれば修正します。お客様から新しい機能の追加依頼があればプログラムを改定したり、不具合があった場合に対応したり、保守業務にも携わっています。基本的には、岡山本社のセキュリティーームでプログラミングを行っています。県外のお客様を受け持っているため、システム開発のために数箇月間、現地に滞在または日帰りでの出張もあります。現地では製造工程を直接見たり、自分の作るシステムがお客様の業務にどのように貢献できるのかを把握できたりするので、「私の仕事が役に立っている」と感動することが多く、やりがいも感じられます。

### スケジュール管理法を変えて納期を厳守 — ターニングポイント —

私は農学部出身なのでプログラミング未経験でしたが、企業の業務改善に貢献できるITやIoT技術は新しい世の中に必要とされていく技術だと考え、未経験者の挑戦を受け入れてくれるセリオ(株)に入社。2か月間の研修を経て、入社1年目の夏には、指導係の女性の先輩のもとでプログラミング業務に就きました。しかし、仕事は予想以上に難しく、同じことを何度も質問したり、時間に追われると気持ちばかりが焦ってミスをしたりと、すぐには馴染めませんでした。また、作業が遅い上に学生気分の抜けていなかった私は予定通りにプログラミングを進められず、納期に間に合わせるため、自分だけでなく、指導係の先輩にも残業させてしまいました。その反省から、納品日に向け、数段階に分けて先輩が設定してくださった中間締切に加え、自分なりに1日単位の到達目標を定め、さらに数時間単位で細かく作業内容を設定し、ノートに書いて自己管理するようになりました。それでも最初は思い通りに進みませんでしたが、次第にスケジュールに対して早め早めに作業するよう意識が変わり、さらにスキルも上がって作業スピードが増し、2年目以降は、ほぼ定時で退社できるようになりました。入社3年目の今は、以前と比べると異次元なほどスラスラとコードが書けていることを実感。システムの不具合にも気づけるようになり、成長を感じています。

### 資格を取得し、開発力を養い、信頼される技術者・指導者へ

私の入社時に指導係だった女性の先輩は、入社4年目でした。その先輩はプロジェクトチームのリーダーもされていましたが、未経験から出発した私には、まだリーダーの実力はありません。システム開発は実力世界。能力で評価されるので、新規案件に参加する際にも経歴や資格、実績などを提示しないとダメです。私は、IT系国家資格の「基本情報技術者」を取得したので、高度区分に進むために必要な「応用情報技術者」試験合格を目指して勉強中。将来的には、0から1を作る力、自分で開発する力を養い、私と同じようにプログラミング未経験で入社する後輩に「大丈夫、なんとかなる」と思える姿を見せられるよう頑張りたいです。また、自分の失敗や経験を蓄積し、未経験の後輩から「教え方がわかりやすい」と言われる先輩になりたいと思っています。同じ部署の女性の先輩には、東京支社に転勤された方もいらっしゃいますし、妊娠中で時短勤務の方、産休後に復帰して子育てしながら働いている方もいらっしゃいます。将来はわかりませんが、自分の可能性に挑戦しながらできるだけ長く働き続けたいと思います。





**知識ゼロでもプログラマーになれる  
入社後の研修で言語を習得し、  
働きながら情報技術を習得。**

日々進化するプログラミング言語。新しい言語も次々と登場するので、入社時に知識がなくても数箇月の研修を受ければ業務に入ることができます。私は、約2か月間、「C#」と「SQL」というプログラミング言語を習得する技術研修を受けました。その後は、指導係の先輩に教えていただきながらシステムの改定などに携わり、コードを読みながら言語や書き方を習得。新しい言語は随時、書籍などで学習し、現在は「Java」を使用しています。



**自分に合う仕事は必ず見つかる  
未経験からの努力を認め、人と比べず  
マイペースに生きることが大切。**

プログラミング経験者と比べると、実力の差を感じて落ち込むことはあります。しかし、作業は遅くても未経験だから自己流の癖がなく、プログラムの違和感に気づけるので不具合を見つけることができ、品質向上に貢献できる側面もあります。上司や先輩に「気づく力」を評価してもらえてとてもうれしかったです。自分に合う場所、役に立てる仕事は必ずあるので、他人と比べず、自分の成長を認め、マイペースに生きることが心掛けています。



**まったく違う自分になれる場が活力  
歌・ダンス・芝居をプロに学ぶ  
ミュージカルの練習で気分転換。**

小さい頃から音楽や舞台が好きなので、岡山シンフォニーホールミュージカルワークショップに参加。プロのミュージカル俳優やボイストレーナーなどの指導のもと、歌・ダンス・芝居を習っています。練習は月5回で舞台公演も行います。プロに学ぶことで感性も養えるし、声を出すと気持ち良く、新しい友達もできました。舞台だけでなく練習中も、自分じゃない人間になれる場を持つことで気持ちをリフレッシュしています。

ある1日のスケジュール

- ★7:30 起床、朝食、身支度
- ★8:30 自転車で出勤
- ★8:40 出社
- ★8:50 朝会
- ★9:00 プログラミング
- ★12:00 昼休憩・昼食(手作りのお弁当orコンビニ)
- ★13:00 午後の業務  
(プログラミング、テスト、見直し作業など)
- ★18:00 終業、掃除
- ★18:20 退社
- ★19:00 ミュージカルのレッスン
- ★21:00 練習終了
- ★22:00 帰宅、夕食づくり、夕食
- ★23:00 テレビ、You Tube  
(You Tuberの番組、音楽など)を見る
- ★23:30 入浴

0:00 就寝



セリオ株式会社  
製造システム第二本部  
システム二部四室  
**宮地 万梨乃さん**  
25歳

[将来の夢]  
かわいいおばあちゃんになること  
[リラックス法]  
一人カラオケ、マッサージ

[自分磨き術・プライベート]  
ミュージカル  
(歌・ダンス・芝居)

